

新潟県

第15号

阿賀野川 えーとしだより aganogawa E-toko dayori



「横越横雲橋」(場所:新潟市江南区横越中央〜横越上町/昭和戦前か?/提供:田辺修一郎氏)

t / 1 · •

新しい"つながり"が鍵を握る阿賀野川流域の未来

に課題となります。 大課題となります。 かに新しい価値を生み出せるかい場合を通じた新しい関係性から

パネル展「阿賀野川と銅山、ダム、そして高度成長の果てに ~ 大河と近代産業が 過回中



11月から阿賀野川流域の各施設で始まったパネル巡回展も、残り2施設となりました。併設の絵ハガキ写真展もぜひ!

期間 会場 時間

3/4~3/15 水の駅「ビュー福島潟」(9:00 - 17:00 (入館は 16:30 まで))

3/19~4/8 NEXT21 アトリウム 8:00 - 23:00

パネル巡回展に併設! 絵葉書と昔の写真展

~セピア争の阿賀野川

映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画のお知らせ

新潟水俣病問題が続く阿賀野川流域に暮らす人々を、3年かけて 記録したエンターティメントドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」。 この映画の上映会を阿賀野川沿岸各地で順次開催しています。



日時 ● 3月 28日(土)14時~(開場 13時半~)

場所 ● 石間集会所(阿賀町石間 3908)

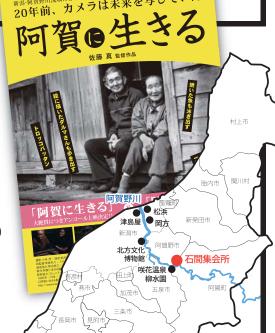
※参加されたい方はお問い合わせ下さい(平岩携帯 080-3142-1684)

上映会の会場準備や上映会の開催を 手伝ってくれるスタッフを募集しています!

間 080-3142-1684(平岩)かメールaganogawa210@gmail.comまで

プログ:http://aganogawa210.blog.fc2.com/





「阿賀野川え~とこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(通称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川え~とこだ!憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向はて行動します。

編集後記

第15号はいかがでしたでしょうか?

前回もお知らせした新潟水俣病公式確認 50 年事業に向けて、被害者団体や県内大学など関係する各団体とも様々な趣向をこらした取組を企画しており、掲載可能になった企画から順次紹介して参りたいと思います。

今号の目玉特集は、阿賀野川流域各地の「宝もん」を2日間かけて巡った地域再発見講座の開催レポートです。参加された皆さんからは大好評で、ぜひ次回も開催してほしいとの要望が多く、これもひとえにツアーを陰で支えてくださった人々のご協力があったからこそで、感謝申し上げます。

次号も4月末に発行予定なので、お楽しみに!

阿賀野川え~とこだより 第15号

発行: 新潟県(※環境省補助事業) 発行日: 2015 年 2 月 25 日 企画編集: 一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866

TEL.&FAX.0250-68-5424 aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え〜とこだ!流域通信 http://www.aganogawa.info/ アクセス増加中!



※この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。